



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
コード番号 6425 URL <http://www.universal-777.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 富士本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 根岸 良直

TEL 03-5530-3055

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	12,197	△29.0	△791	—	△1,259	—	161	△77.6
27年3月期第1四半期	17,179	201.7	3,745	—	2,514	—	720	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △3,832百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △2,408百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	2.20	—
27年3月期第1四半期	9.82	—

(参考)持分法投資損益 28年3月期第1四半期 △447百万円 27年3月期第1四半期—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第1四半期	279,255	212,895	75.8	2,883.55
27年3月期	288,120	220,020	75.9	2,979.73

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 211,606百万円 27年3月期 218,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	45.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の年間配当金の合計は、平成27年3月5日を臨時の基準日とする剰余金の特別配当額(1株当たり30円)を含めた金額であります。平成28年3月期の配当予想は未定としております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	46,150	20.1	8,150	△11.4	7,850	△16.5	3,150	△27.2	42.92
通期	100,300	13.9	19,800	△5.9	19,200	△12.9	9,300	△8.6	126.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の主力事業であるパチスロ・パチンコ事業において、第1四半期の導入台数は約26,000台となっております。上期の販売計画は第2四半期に集中しており、第2四半期においてはパチスロ・パチンコ機約80,000台を導入する計画であり、受注状況としては現時点で約9割確定しており、好調に推移しております。そのため第2四半期の業績予想は、概ね達成出来るものと考えております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) Universal Entertainment Korea co., Ltd
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	80,195,000 株	27年3月期	80,195,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	6,811,154 株	27年3月期	6,811,154 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	73,383,846 株	27年3月期1Q	73,383,846 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(4) 追加情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成28年3月期 第1四半期累計	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
個別 (百万円)	12,133	287	952	543
連結 (百万円)	12,197	△791	△1,259	161

当第1四半期連結累計期間における売上高は12,197百万円（前年同期比 29.0%減）、営業損失は791百万円（前年同期 営業利益3,745百万円）、経常損失は1,259百万円（前年同期 経常利益2,514百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は161百万円（前年同期比 77.6%減）となりました。

なお、事業セグメント別の業績は以下の通りであります。各業績数値はセグメント間売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

① パチスロ・パチンコ事業

第1四半期においては、前期に市場導入し、人気と稼動が高くホールから非常に高い評価をいただいたパチスロ機『沖ドキ!』などの増産販売を行いました。

また、前期に販売活動を行い、3月に納品を開始したパチスロ機『ミリオンゴッド-神々の凱旋-』の一部が当期の納品となったことから、当第1四半期連結累計期間におけるパチスロ・パチンコ機の導入台数は約26,000台となり、パチスロ・パチンコ事業の売上高は11,251百万円（前年同期比 31.3%減）、営業利益は2,613百万円（前年同期比 57.0%減）となりました。

② その他

メディアコンテンツ事業においては、パチスロ機『ミリオンゴッド-神々の凱旋-』及び『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』のシミュレーターアプリをAppStoreやGooglePlay、会員制モバイルサイト「ユニバ王国」にて配信いたしました。以前よりアプリ化の要望を多数頂いていた『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』は、配信後わずか7日間で10万ダウンロードを突破し、AppStoreやGooglePlayの有料総合ランキングで1位を獲得いたしました。ユーザーレビューでも高評価を頂くなど、現在もランキング上位に位置しております。また、auスマートパス及びドコモスマホ得で「アナザーゴッドハーデス-奪われたZEUSver.-」の配信を開始いたしました。

日本最大のパチスロ・パチンコ専門チャンネル「パチンコ★パチスロTV!」を運営する日本アミューズメント放送株式会社における第1四半期の放送事業においてはJ:COM加入件数が引き続き堅調であり、好調に推移しております。コンテンツ配信事業においては新たに提供を開始したコンテンツの売上が好調となっております。また、3月にサービスを開始したPC・スマホ向け動画配信サイト「パチテレ!NETプレミアム」も順調に加入者を伸ばしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は947百万円（前年同期比 15.1%増）、営業損失は1,181百万円（前年同期 営業損失584百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は82,054百万円となり、前連結会計年度末に比べ21,141百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が21,759百万円減少したことによるものであります。固定資産は197,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,277百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が11,052百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、279,255百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,864百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は57,019百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,535百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が6,350百万円減少したことによるものであります。固定負債は9,341百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,795百万円増加いたしました。これは主にリース債務が5,463百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、66,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,739百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は212,895百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,124百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が3,905百万円減少したこと、及び利益剰余金が3,140百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は75.8%（前連結会計年度末は75.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① パチスロ・パチンコ事業

第2四半期においては、2013年12月に市場投入したパチスロ機『SLOT魔法少女まどか☆マギカ』と2014年1月に市場投入したパチスロ機『バジリスク～甲賀忍法帖～絆』の新パネルの販売・導入を行っております。両タイトルは、導入から約1年半経過した現在においても高い稼働を維持し、ユーザーの皆さまやホールから高い評価を頂いております。

また、本年1月に市場投入した約4年ぶりのパチンコ機の新タイトル『CR バットマン - 灼熱のゴッサムシティ - 』に続く、パチンコ機の新タイトル『CR ミリオンゴッドライジング』の投入を7月に行っております。当タイトルはパチスロ市場で絶大な人気を誇るミリオンゴッドのコンテンツを使用したものです。

今後もパチスロ機のみならず、パチンコ機の新タイトルの供給も行っております。

② その他

メディアコンテンツ事業においては、引き続き、ユーザーの皆さまに高品質なシミュレーターアプリを提供できるよう研究開発を進めてまいります。また、会員制モバイルサイト「ユニバ王国」においては、サイトの充実を図るとともにアプリコンテンツも続々投入する予定です。今後もユーザーの皆さまからの支持が得られるようなサイト運営を行ってまいります。

日本最大のパチスロ・パチンコ専門チャンネル「パチンコ★パチスロTV！」を運営する日本アミューズメント放送株式会社においては、PC・スマホ向け動画配信サイト「パチテレ！NETプレミアム」によってより一層の加入者数の増加を目指すべく、新たなサービス・プロモーションの実施や検討を行ってまいります。また、7月に番組改編を実施し、10月にも改編を予定しており、今後も放送事業の拡大やパチスロ・パチンコ市場全体の活性化を図るための番組制作ならびに、よりユーザーに支持されるような番組編成を行ってまいります。

当社グループがフィリピンで開発しているカジノリゾートプロジェクト「マニラベイリゾート」においては、ホテルタワーの躯体が最高階まで達したことを記念し、7月30日にTopping Off Ceremonyを開催しております。当日は多くの報道陣にご参加いただき、セレモニーの様子は世界中に配信されました。今後もプロジェクトを着実に進展させ、世界最高峰のカジノリゾートを創造すべく邁進してまいります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,155	30,930
受取手形及び売掛金	26,571	4,811
有価証券	505	501
商品及び製品	1,272	4,259
仕掛品	11,226	12,953
原材料及び貯蔵品	17,175	19,617
その他	7,330	9,004
貸倒引当金	△41	△21
流動資産合計	103,196	82,054
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,764	7,750
建設仮勘定	52,235	62,038
その他	19,763	21,027
有形固定資産合計	79,763	90,816
無形固定資産		
その他	1,653	1,686
無形固定資産合計	1,653	1,686
投資その他の資産		
投資有価証券	58,330	58,836
長期預け金	13,096	13,027
関係会社長期預け金	28,964	29,620
その他	6,287	6,303
貸倒引当金	△3,171	△3,090
投資その他の資産合計	103,506	104,697
固定資産合計	184,923	197,200
資産合計	288,120	279,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,243	17,600
未払金	6,904	5,761
短期借入金	28,782	27,277
1年内償還予定の社債	500	250
未払法人税等	7,082	732
賞与引当金	246	428
その他	6,793	4,969
流動負債合計	65,554	57,019
固定負債		
資産除去債務	377	378
長期リース債務	—	5,463
その他	2,168	3,499
固定負債合計	2,545	9,341
負債合計	68,100	66,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	10,852	10,852
利益剰余金	205,314	202,173
自己株式	△14,296	△14,296
株主資本合計	201,967	198,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	19
為替換算調整勘定	16,665	12,759
その他の包括利益累計額合計	16,696	12,779
新株予約権	32	42
非支配株主持分	1,323	1,246
純資産合計	220,020	212,895
負債純資産合計	288,120	279,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	17,179	12,197
売上原価	7,824	4,864
売上総利益	9,354	7,333
販売費及び一般管理費	5,609	8,124
営業利益又は営業損失(△)	3,745	△791
営業外収益		
受取利息	31	16
受取配当金	6	221
為替差益	—	43
その他	71	13
営業外収益合計	108	293
営業外費用		
支払利息	166	253
支払手数料	21	0
為替差損	924	—
持分法による投資損失	—	447
その他	225	60
営業外費用合計	1,338	762
経常利益又は経常損失(△)	2,514	△1,259
特別利益		
新株予約権戻入益	22	1
子会社清算益	—	1,775
その他	—	7
特別利益合計	22	1,784
特別損失		
固定資産除却損	0	6
関係会社事業損失	444	—
特別損失合計	444	6
税金等調整前四半期純利益	2,093	517
法人税、住民税及び事業税	1,368	△33
法人税等調整額	21	466
法人税等合計	1,389	433
四半期純利益	703	84
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△76
親会社株主に帰属する四半期純利益	720	161

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	703	84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△11
為替換算調整勘定	△3,105	△3,905
その他の包括利益合計	△3,111	△3,917
四半期包括利益	△2,408	△3,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,391	△3,755
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

Wynn Resorts, Limited (NASDAQ: WYNN, 以下「ウィン・リゾーツ社」)との民事訴訟に関しては、現在ディスカバリー及び証言録取等の証拠開示手続き中であり、今後、トライアルにおいて証人尋問等を経て判決に至るといふ過程となります。この判決結果により発生する可能性のある当社及び連結子会社等からなる企業集団の特定期間の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に与える影響を確実に見積もることが困難である事実を踏まえ、平成25年3月期連結会計年度末よりウィン・リゾーツ社株式を取得原価で評価しております。

ウィン・リゾーツ社が発行した長期受取手形に対する受取利息として、これまでに3年分(1年あたり38,728,852.63ドル)が裁判所の事務官宛てに、同事務官の信託口座への預け入れ用として発行されました。しかしながら、請求権の原則に基づいて当社グループに帰属しないと判断されることから当該小切手の受取利息を会計上も税務上も認識する必要はないこととなる可能性が高いと判断され、当社連結財務諸表には利息小切手発行に係る事実を反映させておりません。

なお、当社は、2015年2月に、アルゼUSA等と共に、マカオ特別行政区第一審裁判所において、Wynn Resorts (Macao) S.A. 及びスティーブ・ウィン氏ら同社取締役4名を相手として、同社の解散及び約80億マカオパタカの損害賠償等を請求する民事訴訟を提起しており、現在当該訴訟が係属中です。